

出張医学教育FD(丸子中央病院)

【日時】 平成26年12月9日 13時00分～ 13時30分

【場所】 丸子中央病院

【参加人数】 21名

【内容】

○卒前クリニカルクラークシップの現状

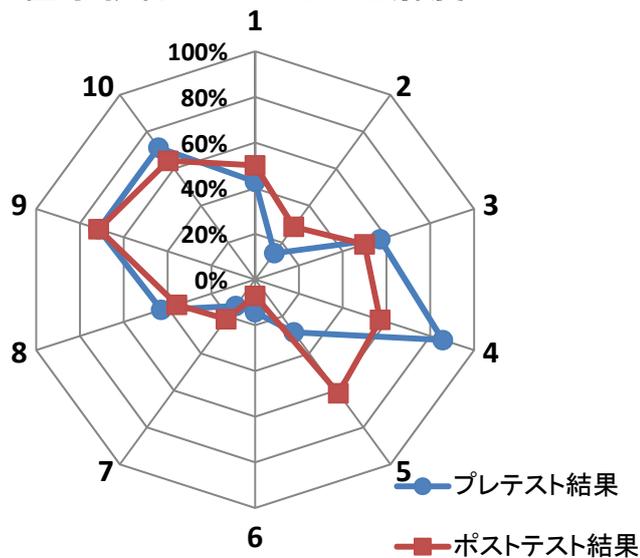
○信州大学における今後の臨床実習

- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について
- ・臨床実習の指導医

○DVD映像で見る参加型臨床実習

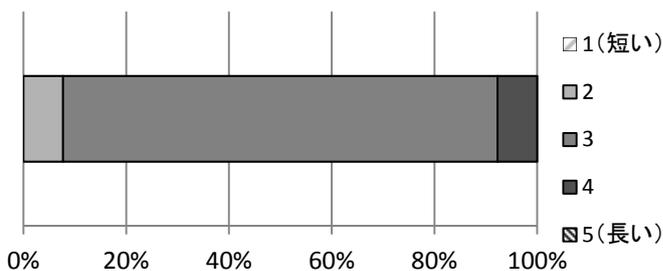


医学教育についての理解度

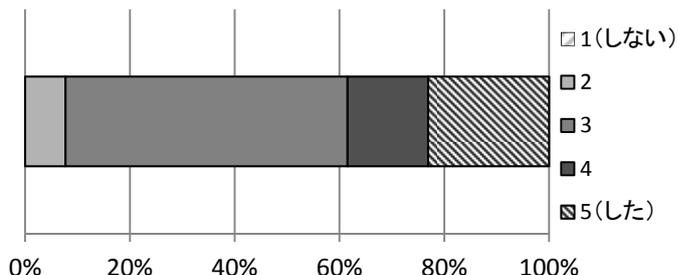


参加者の意見

FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
新しい教育内容。	医行為の範囲。	ご苦勞様ですが、どうしても推進する必要があることなので頑張ってください。
現場での学習が大事であること。	学生と初期研修医との間での医療行為の区別。学生が病院に対する評価はフィードバックされるのか。	医学教育が進化していることに驚かされました。
学生にチームの一員として診療に参加させることが大事であること。	現時点ではわからない。	地域医療学の中に長野県の医療目標についての講義が有るか否か？知識は教科書からでも。しかし実践は相手の実態を知ってから。
どのような感じで臨床実習をしていくのか？	なぜ欧米型の実習が優れているのか？	
理解できた。		
医学生に臨床実習が必要である。		
一人ひとりに評価してあげること。		